
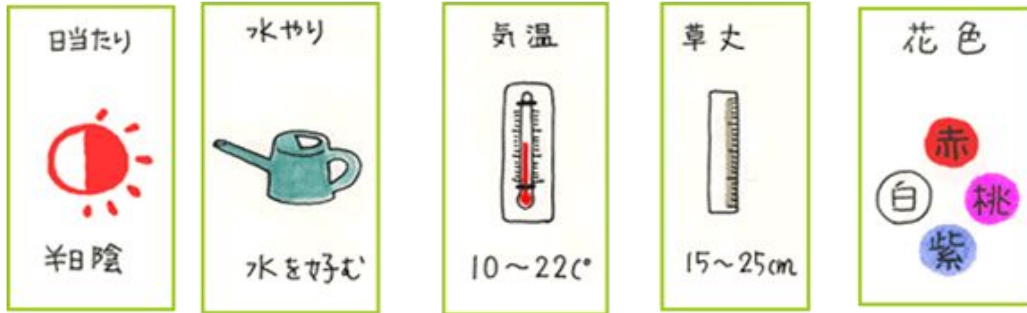


お花の栽培シリーズ「シクラメン」		
2006年1月	睦月(むつき)・正月(しょうがつ)・初陽(しょうよう)・年初月(ねんしよげつ)・太郎月(たろうづき)・祝月(いわいづき)	●花作りの今年1年間の計画をたてましよう
今年はずひ育ててみたい新しい植物はありませんか？ 参考書やカタログなどで知識や情報を仕込み、あれこれ考えをめぐらすのは楽しいものです。暖かくなると忙しくなるので、寒いうちに理想の庭に仕上げるために、じっくりと考えたいものです。		
庭木の作業	・休眠の時期なので植え替えは不適當。枯れ枝や病気の枝を切り、害虫の卵やサナギなどを見つけたらとります。	
草花の作業	・根が十分に張っていない苗などは、霜によって持ち上げられ、乾燥して枯れる心配があるので、株の周りを踏みつけ、必要ならば霜よけや防寒を十分に守ります。	

今月の誕生花	オンシジウム・ツバキ・エリカ	
今月の花	ハボタン 花言葉/利益、祝福	
	正月用の生け花や、家々の玄関に植えるなど この時期には よく見かける花です。 色彩のとぼしい時期に、赤や白に色づき 明るい葉の色でいろどりを加えてくれる 貴重な植物です。 葉の形が 美しいボタンの花に見立てられることから、「ハボタン」と名づけられました。	
	<p>原産地はヨーロッパ。アブラナ科アブラナ属の1年草。草丈は20～60cm。直径10～50cm程度。開花時期は2～4月。最盛期は3～4月。葉の形状はロゼット状。寒さにあうと中心部の葉が赤、白色に色づく。別名：ボタンナ(牡丹菜)、花キャベツ。英名デコレイティブ・ケイル(Decorative kale)、フラワーリングケイル(Flowering kale)、フラワーリングキャベツ(Flowering cabbage)。</p> <p>中国三国時代の戦術家諸葛孔明は、行く先々の戦場で、キャベツを栽培して 兵士の食料にしたという故事があります。 そんなところから、「利益」という花言葉がうまれたようです。</p> <p>さまざまな品種があり色も豊富です。ちりめん系(名古屋)、丸葉系(東京)中間タイプ(大阪)と、さらに葉の切り込みが深いサンゴ系などがあります。</p>	



鮮やかな色の花びらが反転して咲く姿と、模様が入った葉が 美しい冬の鉢花の代表。
シクラメンの学名である「Cyclamen」は、ギリシャ語でCyklosのことで、「円」という意味です。
これは、球根の丸い形からきています。
和名の「篝火花」は、開花したときの様子が篝火をたいているように見えることからつけられています。

●ふだんの手入れ

水は、表土が乾いたら たっぷり与えます。
水をやるときには、葉や花、球根に水が かからないように注意します。
花がおわったら、花がらは 根元から取ります。
株を元気に保つために、葉の表裏を ときどき濡れた布で ふいてやります。

●花がら摘みのやりかた

咲き終わった花は、そのままにしておくと 下部が腐る原因になるので花がらは摘み取る。
ハサミなどは使わず、かならず根元の方を持って軽くねじるようにして引っ張って取る。
枯れた葉も 同様にして取るようにする。



●花を中央によせる・・・

花が 中央にまとまらずに バラバラになってしまうのは、葉に邪魔されているからです。
週に1回くらい 葉を開いて 花を中央に寄せると、見栄えがよくなります。
また、小さな葉を 順次 大きな葉よりも 表に出してやることです。



花がバラバラになってしまう・・・



まんやかに寄せましょう・・・

●夏ごしの方法

6月～8月まで 水やりをやめて 休眠させる方法。
 翌年2月ごろの開花が 少し遅くなりますが、やりやすい方法です。
 夏の間、乾かし気味に水やりをする方法。
 12月頃から 開花しますが、夏の間腐ってしまうおそれがあります。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花前				花期				花後			
置き場所	屋内の日当たりの強い場所				屋外の明るい半日陰				屋内の日当たりの強い場所			
水やり	表土が乾いたら与える(1～2日に1回) ※葉や花にかからないように注意する				生育中なら1日に1回 休眠中なら水を切る				表土が乾いたら与える(1～2日に1回) ※葉や花にかからないように注意する			
肥料	10日に1回、液肥を与える								元肥		10日に1回、液肥を与える	
病気害虫	ポチリチス病を ベンレート剤などで防除する											
作業	花がら摘み ※ときどき 葉の裏表を 濡らした布でふく				植え替え				花がら摘み			